

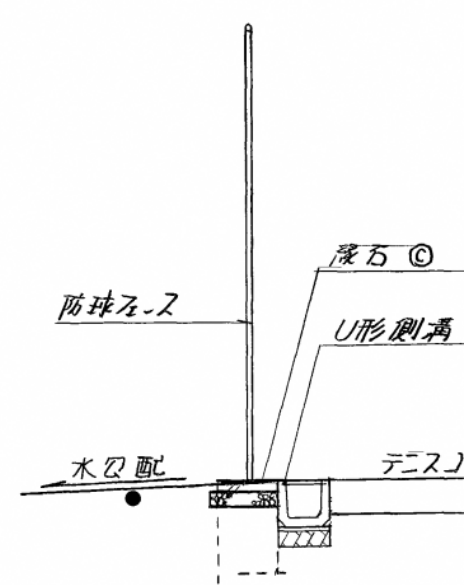
投取

凡 例	
□ ①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電 力 電 告)
□	電 水 器
□	電 力 (マ ン ナー ル)
□	水 道
□	止 水 弁
□	水 道 ハ ル プ
□	散 水 栓
□	市 仕 切 弁
□	人 入 栓
□	水 銀 燈
□	制 水 弁
□	標 識
□	ヤ ス ト
□	透 水 栓
□	通 信
□	雑 排 水
□	集 水 溝
□	ク レー ナ リ 蓋

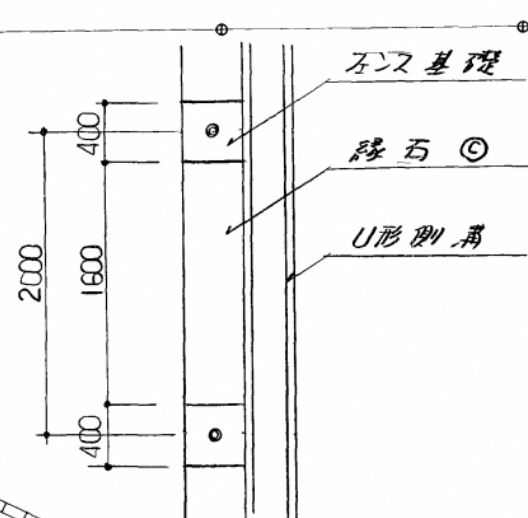
集計表

種 別	細 別	数 量
踏 切 口	RC 道 W2000 H-5000	1 箇所
ネ ー ム ガ ス ト	差込(面付) 浅付 塗装	18 (ホストの43列並)
セ ー タ カ イ ト	SUS 304 φ8% e=200	9
ネ ー ス ト ア	H 2000 W 3000	4
防 球 ス ー ス	H 3000	635 3 ^m
ラ ン プ ガー ム	W 50	1391.8
足 元 場	985 × 2000	1 箇所
物 置		
リ リ ー ガー フ ル	外径φ 3000 内径φ 1000	4 箇所

U形測溝布設部 断面図 1/50



平面図 1/50



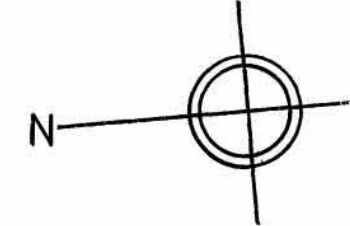
BM TP +2 976

鳴門教育大学
正門

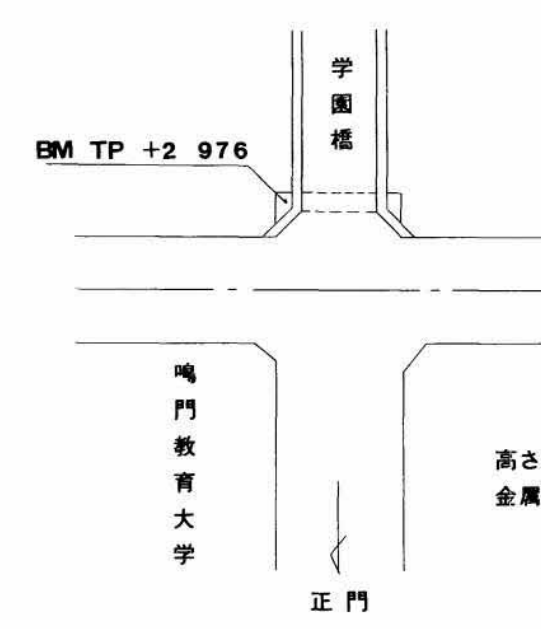
高さの基準は 学園橋、橋台桁受の
金属部を TP +2 976とする

鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹 環境整備(陸上競技場 テニスコート等)工事					
図面名称 施設配置図					
昭和50年8月					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	47

換取



凡 例	
□ ①	汚 水
⊕	電 柱 (電 力)
⊖	電 柱 (電 力 電 話)
⊗	量 水 器
⊙	電 力 (マンホール)
⊖	水 運
⊗	止 水 弁
⊙	水 運 バ ル ブ
⊗	散 水 栓
⊙	雨 水
⊗	仕 切 弁
⊙	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊙	制 水 弁
⊗	操 縦 機
⊙	ボ ス ト
⊗	透 水 栓
⊙	通 橋
⊗	離 排 水
⊙	集 水 溝
⊗	ク レ ー ン 基



高さの基準は、学園橋、橋台桁架の
金属線を TP +2 976とする。

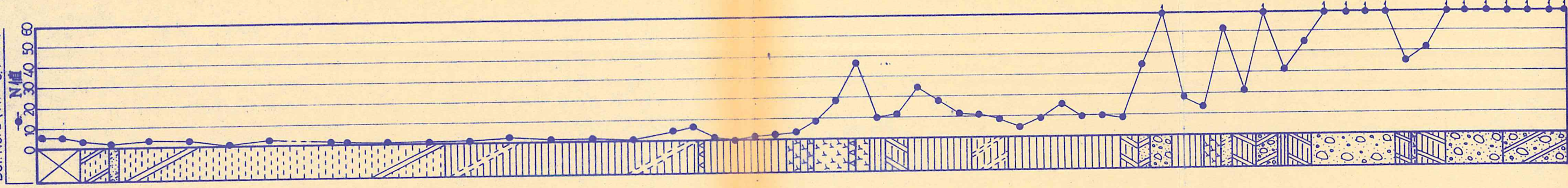
地割計法指示位置略図

- ① 緑石 ④
- 歩 道 旭 樹 帯
緑石 ④
- ② 緑石 ④
- 芝 生 広 場 旭 樹 帯
緑石 ②
- ③ 緑石 ④
- テニスコート 歩 道 旭 樹 帯
緑石 ③
- ④ U形側溝
- テニスコート 歩 道 旭 樹 帯
U形側溝 緑石 ④
- ⑤ 練習ボート
- 船着き場 テニスコート
練習ボート

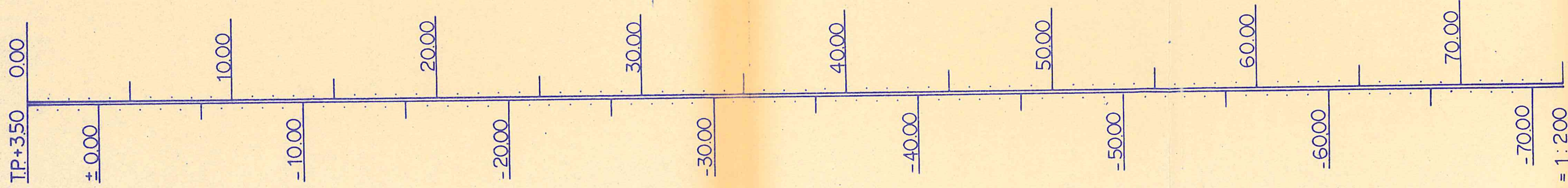
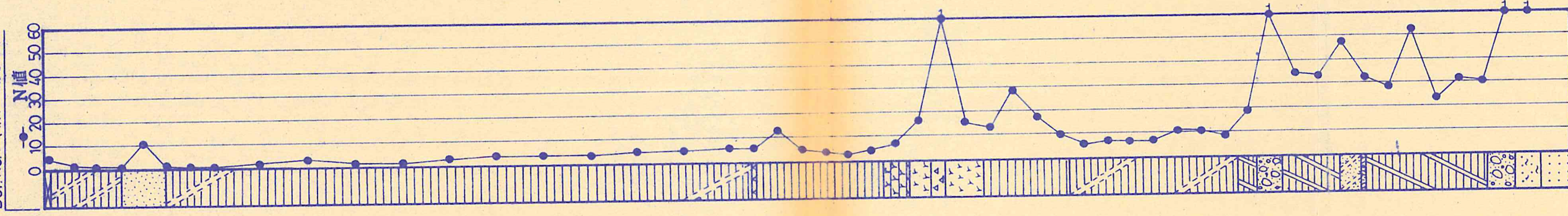
鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹・環境整備(陸上競技場テニスコート等)工事					
図面名称 地割図					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	40

柱状图 (体音用地)

Bor. No. 2 (T.P. + 344 m)



Bor. No. 1 (T.P. + 179 m)



S = 1:200

地盤調査ボーリング柱状図

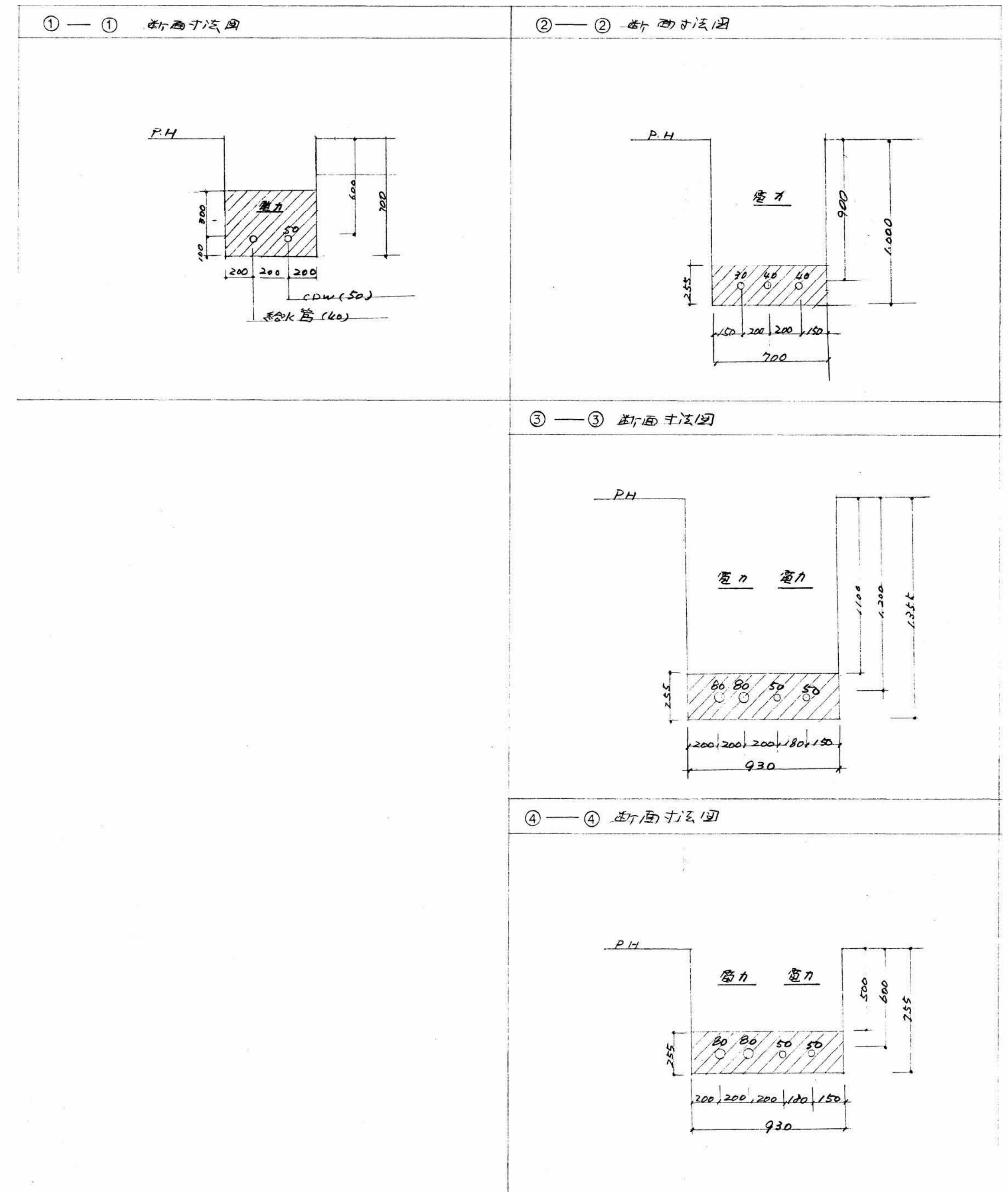
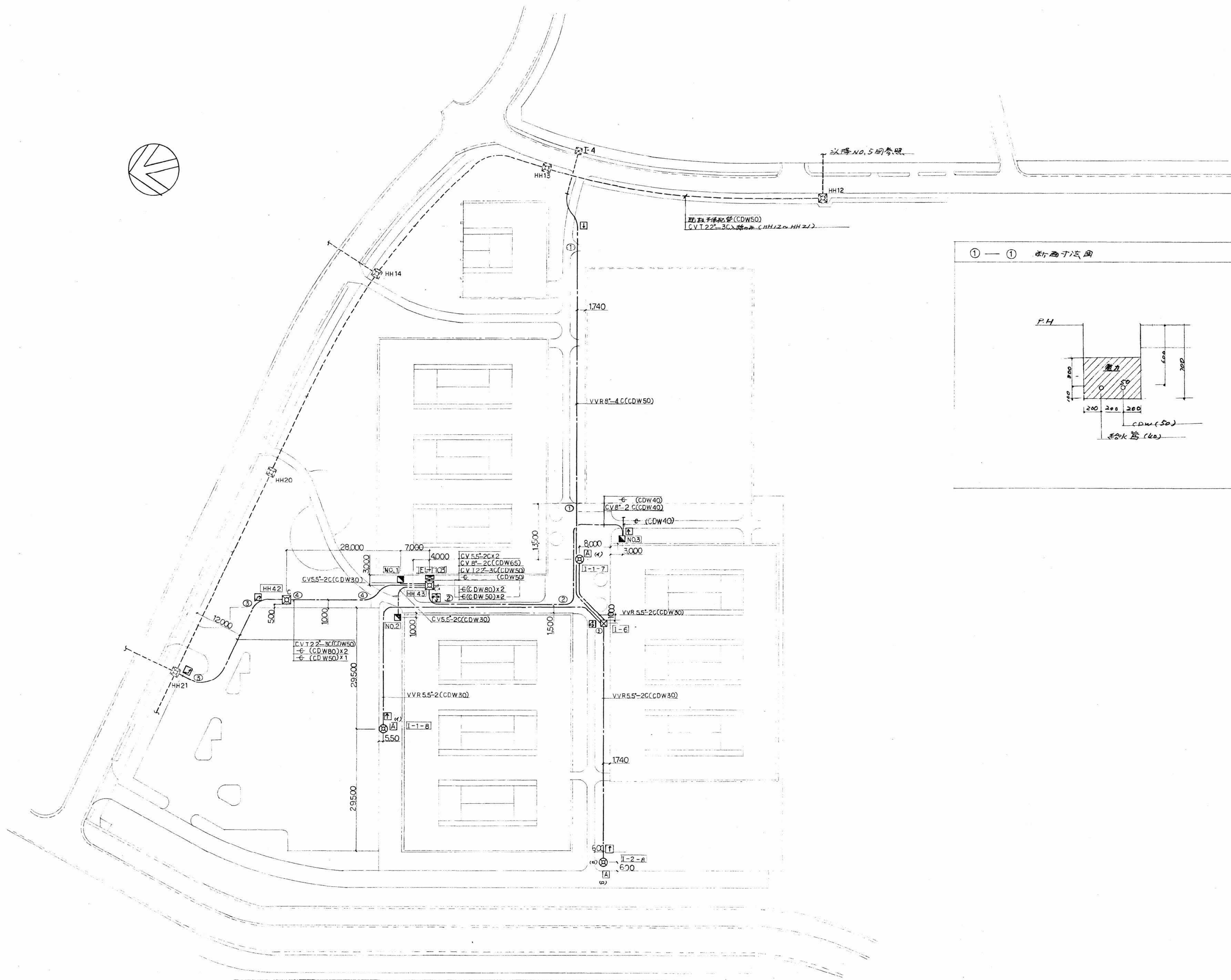
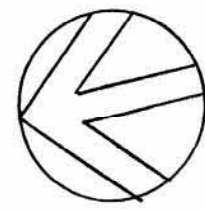
ボーリング番号	No. 1		備考
調査名	鳴門教育大学課外活動センター用地地盤調査		備
工事主体名	鳴門教育大学		
所在地	徳島県鳴門市(市)鳴門(町)村高島		
調査年月日	昭和61年11月13日～11月13日		
標高	T.P.+3.46 m 基準 T.P.+4.000 m		
ボーリング工法	ロータリー工法		
実施者名	西日本ボーリング工業株式会社		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	柱状図	色調	土質名	観察	標本資料 No.	相対密度及 コンシステンシー	標準貫入試験					試験 採取方法	材料 採取深度 (m)
											深度 (m)	N 値 回/10cm	10cm毎の 打撃回数 10cm 20cm 30cm	N 値			
		±0.96	2.30	2.30		黄褐色	シルト質砂礫	砂・5.5~50mmの砂礫主体 砂・8~150mmの礫の混入	(1) (2)	中からい 0.45 1.15 1.45	1.3 1.2	4 3/2	4 7	10 20	● ●		
		±0.06	3.40	0.90		暗青灰	シルト質細砂	細砂主体 深度3.30~3.40m間礫の混入	(3)	軟からい 0.45 2.45	3.7 2	1/11 1/5	1/3 1/5	10 20	● ●		
		-1.34	5.00	1.60		暗灰	シルト質粘土	含水比9.2非崩壊の混入 深度4.90~5.00mの砂	(4)	中からい 0.45 3.45	1.2 1.4	3 4	4/11 5/11	10 20	● ●		
		-2.34	6.00	1.00		暗青灰	細砂	ほとんど均一な細砂主体 少量のシルト混入	(5) (6)	中からい 0.45 5.45	1.2 1.4	3 4	4/11 5/11	10 20	● ●		

注 1. 試料採取方法の記号
×-1 乱さない試料
○ 2 貫入試験による試料
△-3 コア-試料

記事

100



工事名	鳴門教育大学基幹・環境整備(電気)工事		
図名	テニスコート 屋外配線図	縮尺	1:500
製図年月日	昭和 61 年 3 月 日	図面数	7
西武電工株式会社	中田豊秋	図面番号	NO. 4
		設計	

特記仕様書

A 特記仕様

1. 工事名称
- 鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事
2. 工事位置
- 鳴門市鳴門町高島字中島748番地 鳴門教育大学高島団地内
3. 完成期限
- 平成 24 年 3 月 23 日（金曜日）
4. 契約事項
- 国立大学法人鳴門教育大学工事請負契約基準による。
5. 請負代金の支払
- 完成検査完了後、国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部財務課より1回に支払う。
6. 工事範囲
- 本工事は、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成22年版、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成22年版及び設計図面 1 枚によるほか、監督職員の指示により施工する。
7. 監督職員の権限
- 国立大学法人鳴門教育大学工事請負契約基準第9第2項第1号から第3号に示す範囲とする。
8. 工事写真等
- 提出部数 1 部 （カラー、A 4版工事写真帳に整理）

工事範囲表

名	称	摘 要	数 量	備 考
1. テニスコート内通路外灯取設工事			一 式	

B 特記事項

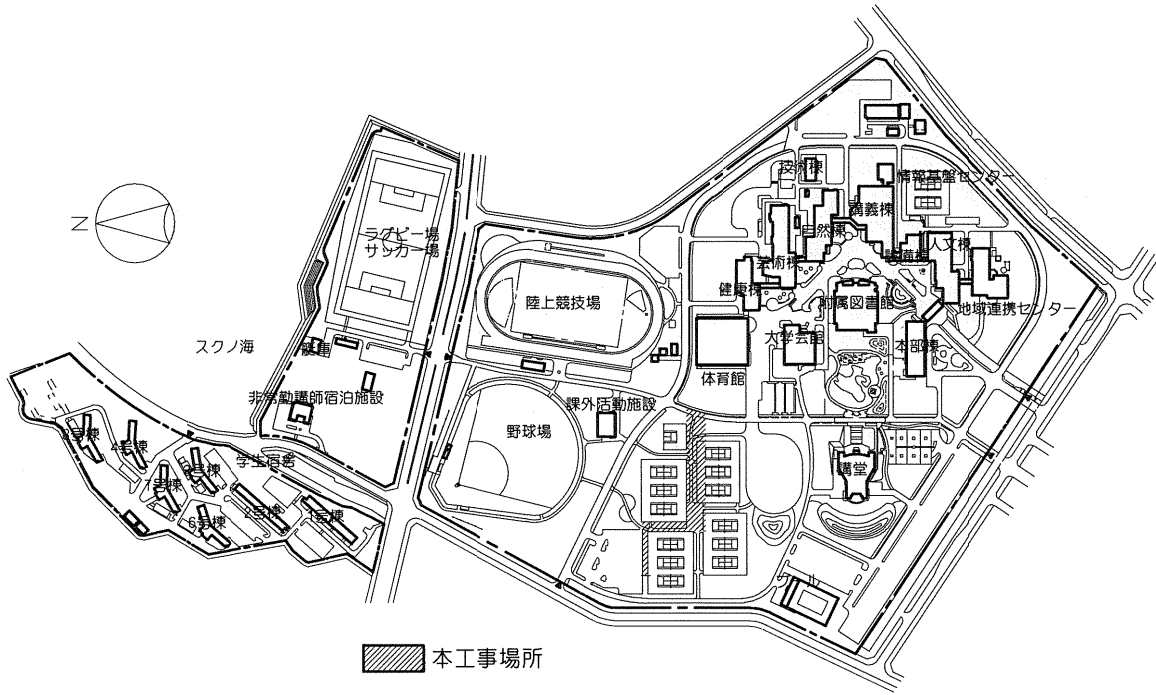
1. 工事内容

(1) テニスコート内通路外灯取設工事

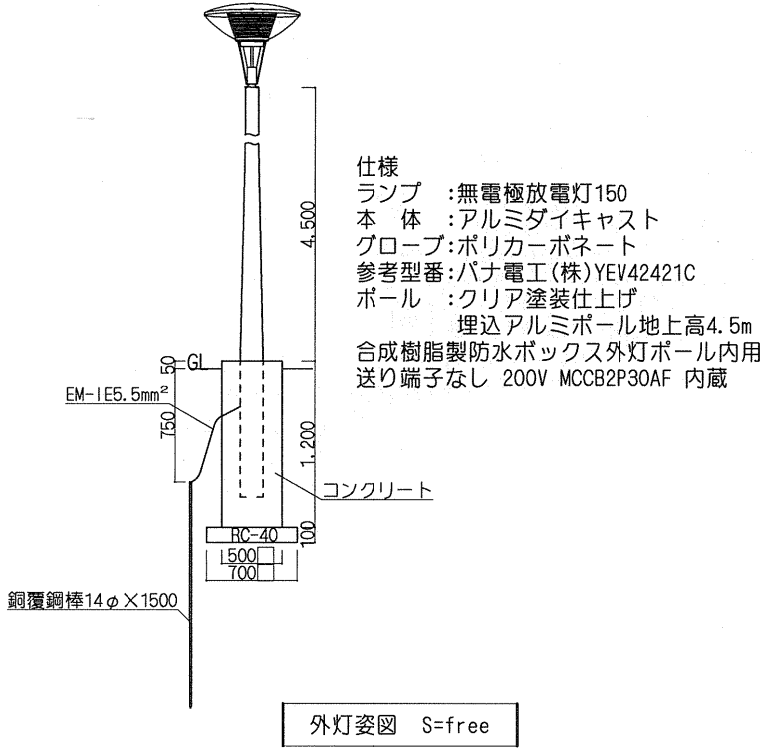
図示のとおり、テニスコート内の通路に外灯を取り設ける。

2. 撤去品

撤去品は関係法令に従い適切に処分する。



鳴門教育大学高島団地配置図 S=1/6,000

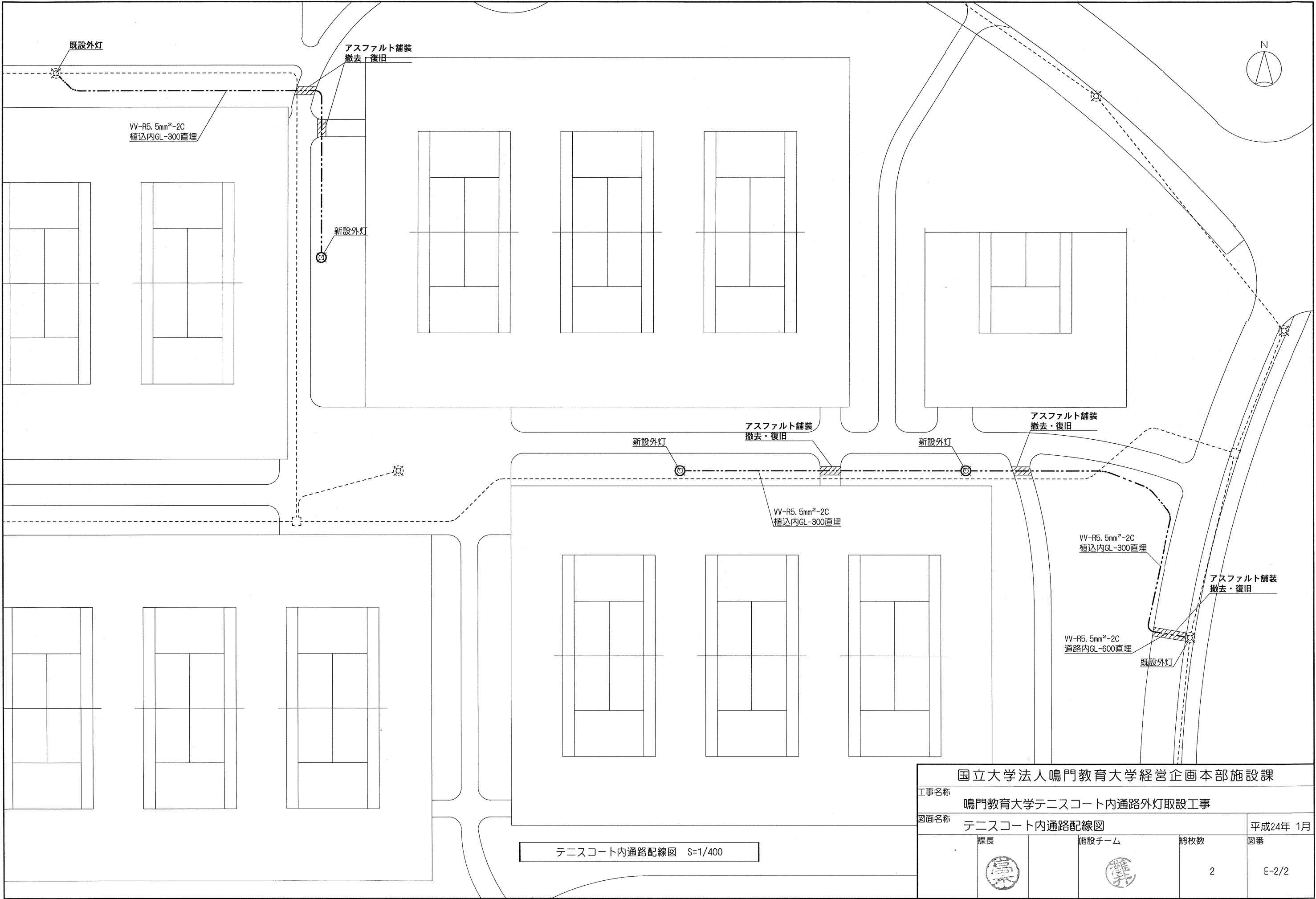


仕様
ランプ : 無電極放電灯150
本体 : アルミダイキャスト
グローブ: ポリカーボネート
参考型番: パナ電工(株)YEV42421C
ポール : クリア塗装仕上げ
埋込アルミポール地上高4.5m
合成樹脂製防水ボックス外灯ポール内用
送り端子なし 200V MCCB2P30AF 内蔵

外灯姿図 S=free

国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部施設課

工事名称 鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事				
図面名称 特記仕様書・配置図・照明器具姿図				平成24年 1月
課長	施設チーム	総枚数	図番	
		2	E-1/2	



テニスコート内通路配線図 S=1/400

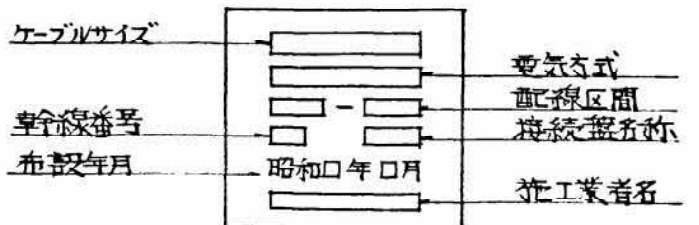
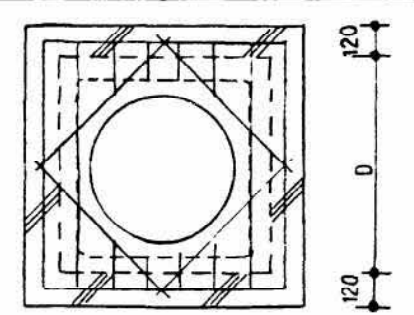
国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部施設課			
工事名称 鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事			
図面名称 テニスコート内通路配線図			平成24年 1月
課長	施設チーム	総枚数	図番
		2	E-2/2

外線工事凡例

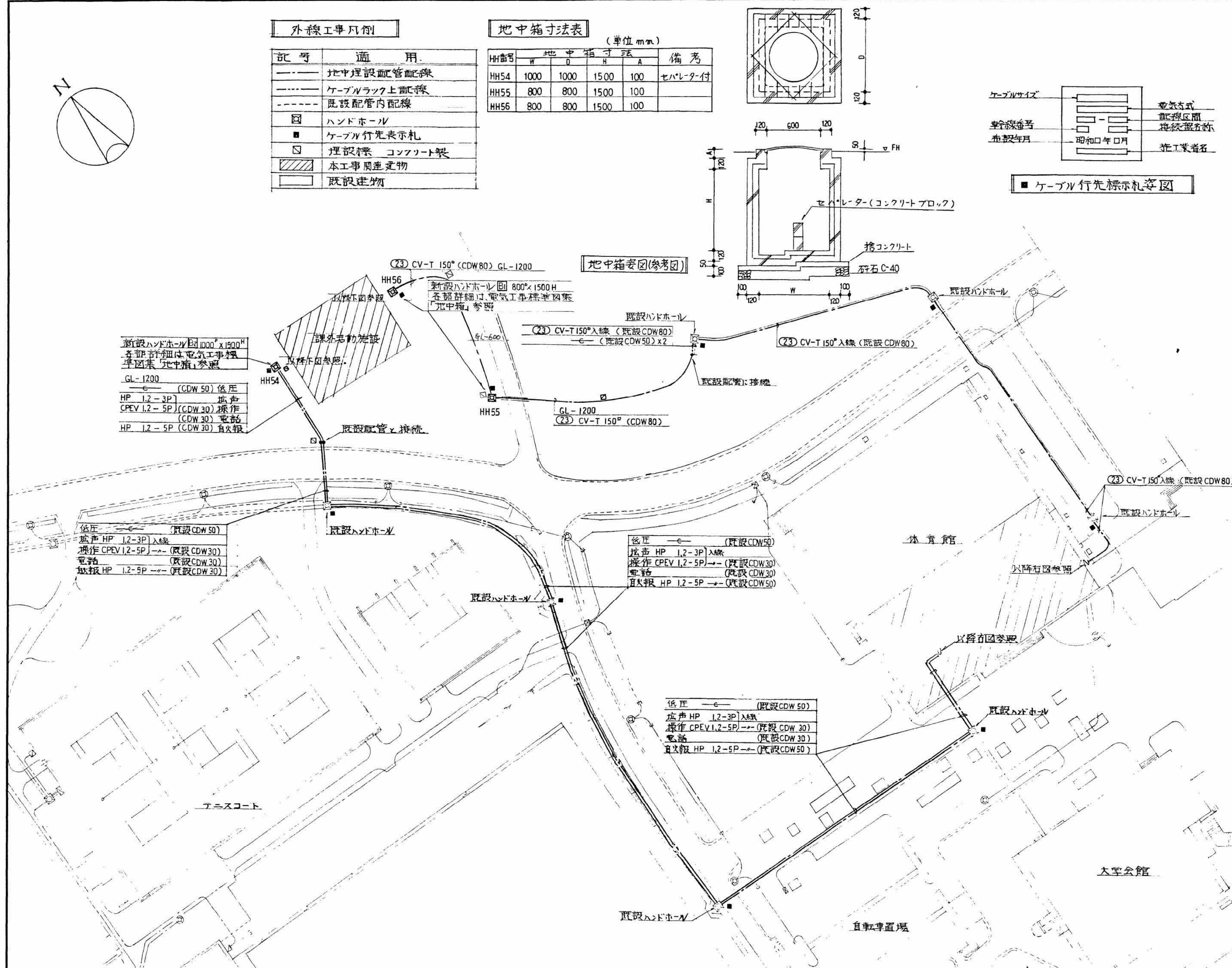
記号	通 用
---	地下埋設配管配線
---	ケーブルラック上面配線
---	既設配管内配線
□	ハンドホール
■	ケーブル行先表示札
□	埋設機 コンソート製
▨	本工事関連建物
▩	既設建物

地中箱寸法表

H(高さ)	地 中 箱 寸 法				備 考
	W	D	H	A	
HH54	1000	1000	1500	100	セパレーター付
HH55	800	800	1500	100	
HH56	800	800	1500	100	

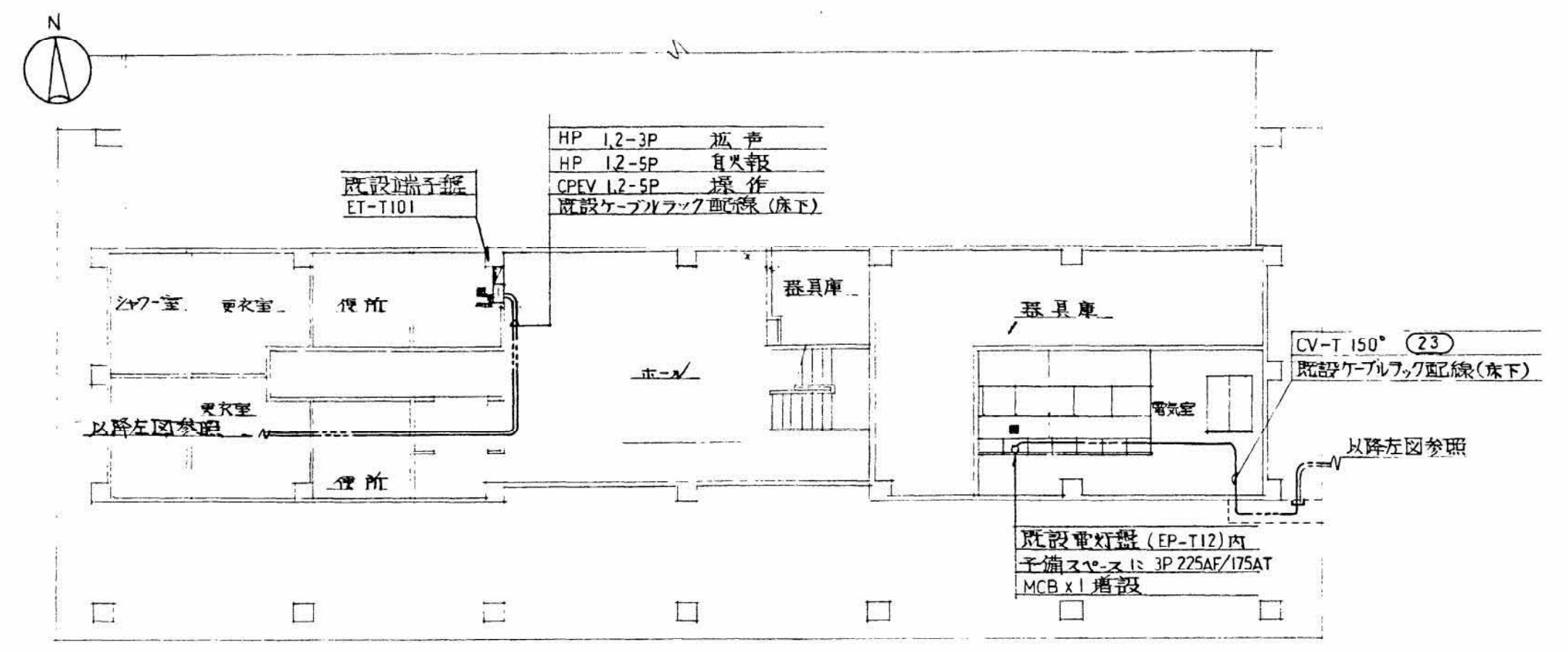


ケーブル行先標記表

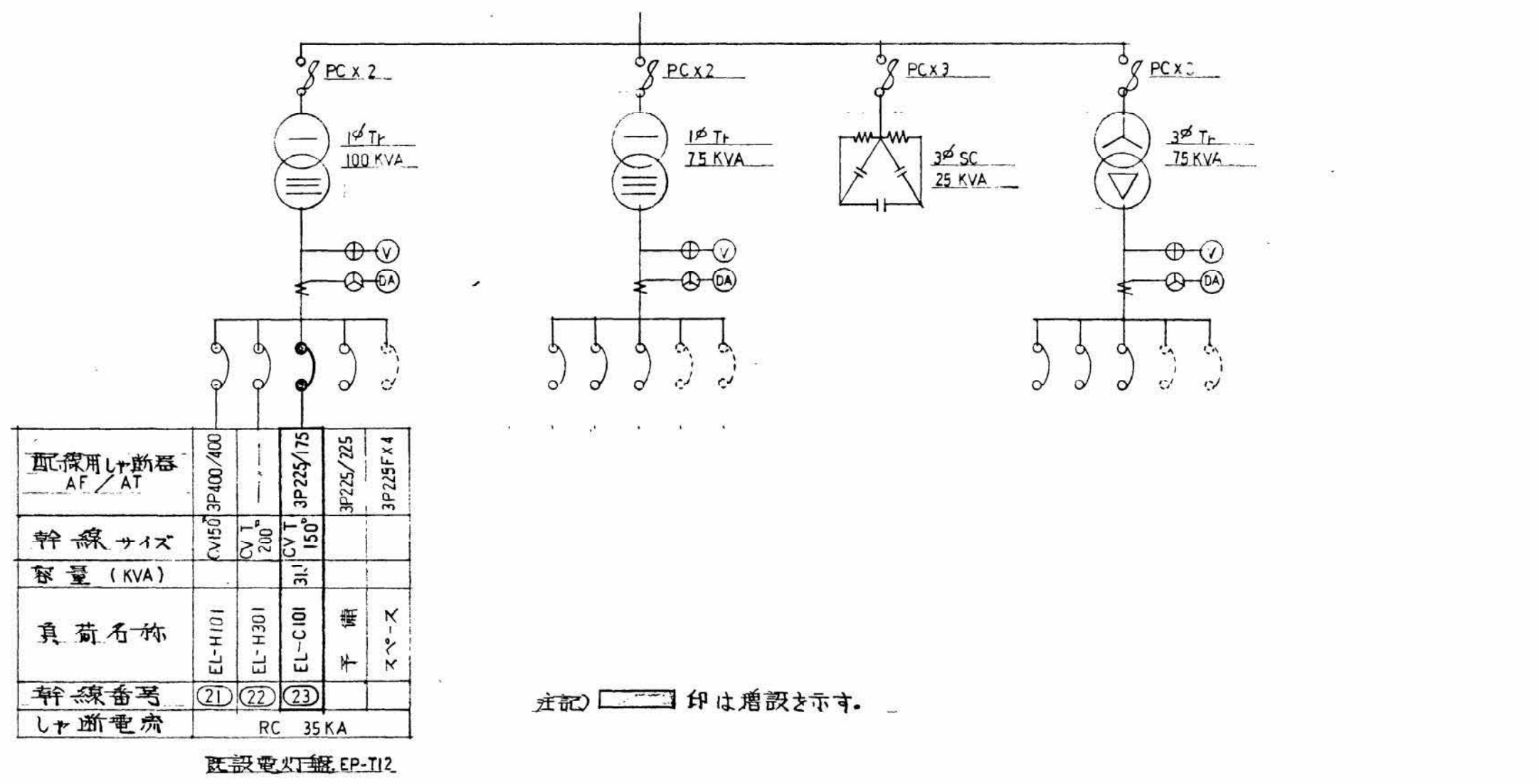


既設体育館配線図

S・1/200

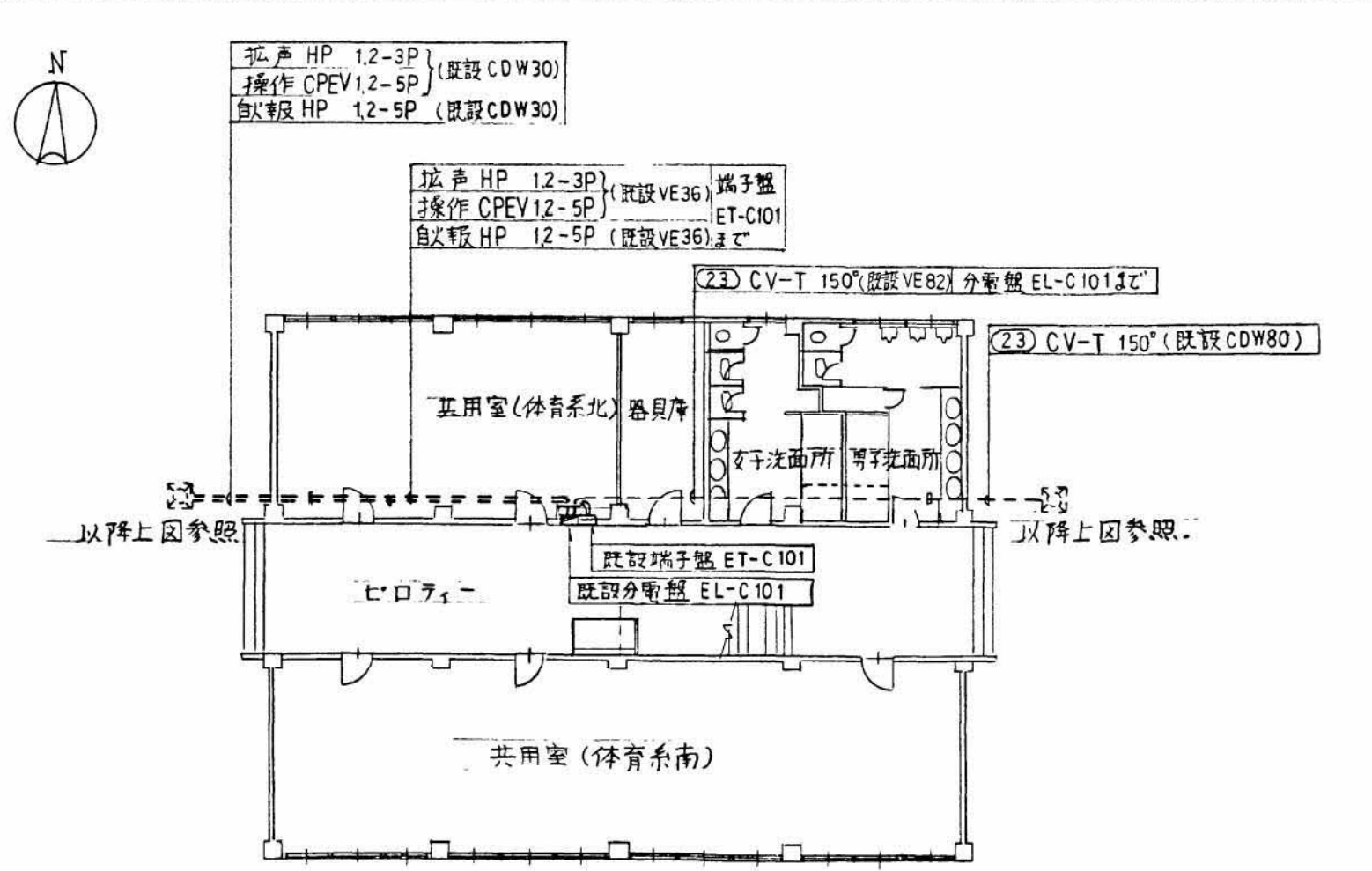


既設体育館変電設備改修単線結線図



既設図書タビシ重方配線図

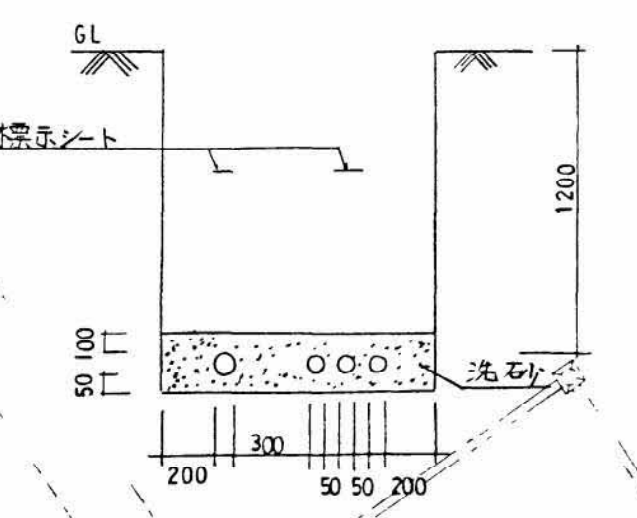
S・1/200



外線工事図

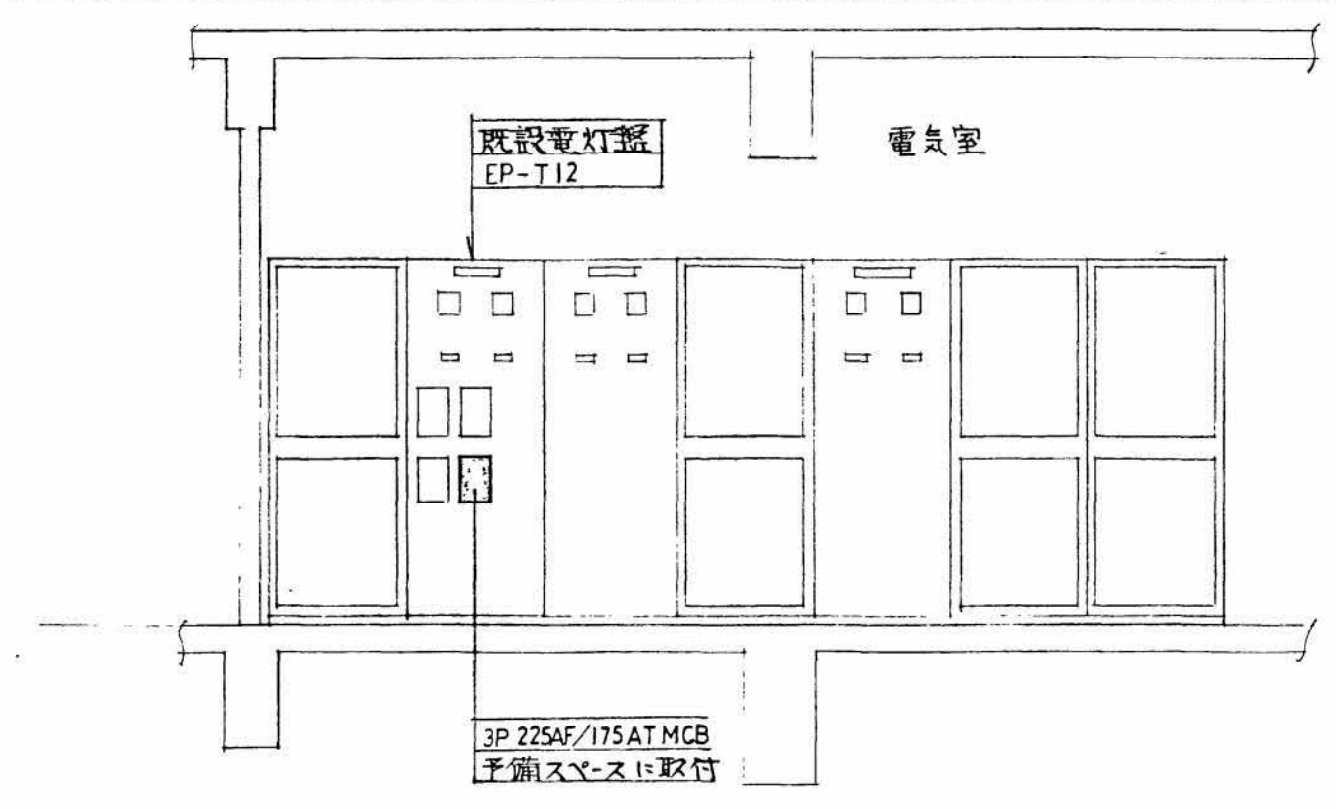
S・1/500

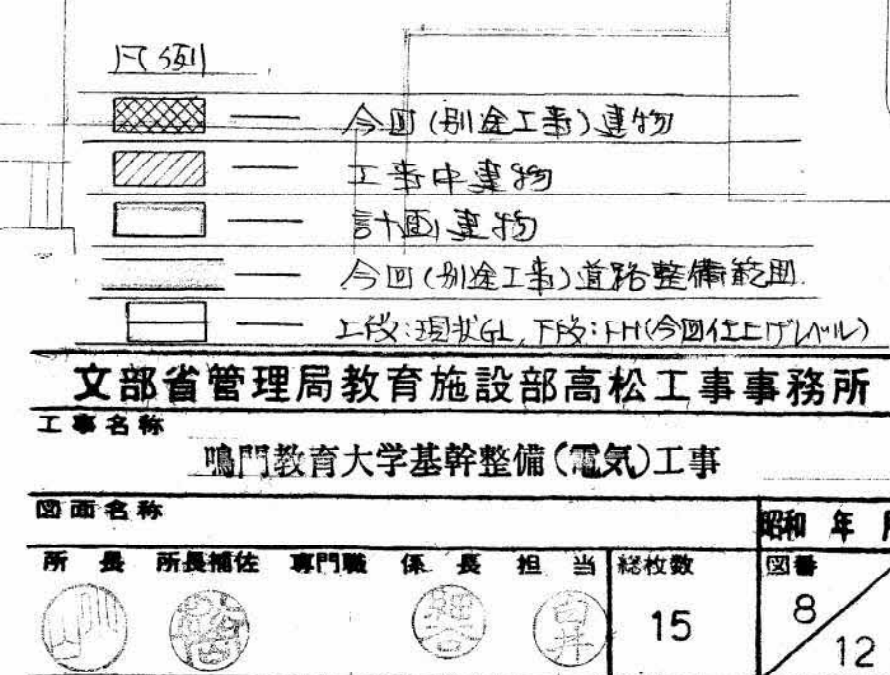
地中埋設配管要領図



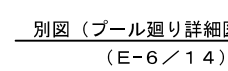
既設低圧配電盤改修図

S・1/50





記号	仕様・概要	備考	記号	仕様・概要	備考
0.3	SM-2C	T V (受電～人丈線)	0.19	SM-2C (窓27 跡品目)	T V (人丈線～寄倉電柱)
	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)		窓柱7C-F-L-B-S	T V (1号線～非常設備)
0.2	SM-2C	T V (受電～人丈線)	0.20	EM-S-7C-F-B×2 (HIVE54)	T V (1号線～非常設備)
	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)			T V (寄倉電柱～1.7号線)
0.33	SM-2C	T V (受電～人丈線)	0.21	EM-S-7C-F-B×2	T V (1号線～非常設備)
	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)			T V (寄倉電柱～1.7号線)
0.34	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.23	窓柱CPEV1.2-5-F	壁 柱
				EM-S-7C-F-B	T V (寄倉電柱～7号線)
0.35	規格Q1=60	規格係数	0.24	窓柱CPEV1.2-5-F	壁 柱
	EM-SM=2C			EM-S-7C-F-B	T V (寄倉電柱～7号線)
0.45	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.25	窓柱CPEV1.2-5-F	壁 柱
				EM-S-7C-F-B	T V (寄倉電柱～7号線)
0.46	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.26	EM-S-7C-F-B	T V (寄倉電柱～7号線)
0.48	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.29	EM-S-7C-F-B (HIVE16)	T V (1号線～非常設備)
					T V (寄倉電柱～1号線)
0.49	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.37	EM-S-7C-F-B	T V (寄倉電柱～7号線)
0.10	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.38	EM-S-7C-F-B	T V (寄倉電柱～7号線)
0.11	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.39	EM-S-7C-F-B	T V (寄倉電柱～7号線)
0.12	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.57	SM-2C	T V (受電～人丈線)
0.13	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.59	SM-2C	T V (受電～人丈線)
0.14	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.60	SM-2C	T V (受電～人丈線)
0.15	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)	0.60	SM-2C	T V (受電～人丈線)
0.16	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)			
0.17	SM-2C (トレンジ)	T V (人丈線～寄倉電柱)			
0.18	SM-2C	T V (人丈線～寄倉電柱)			



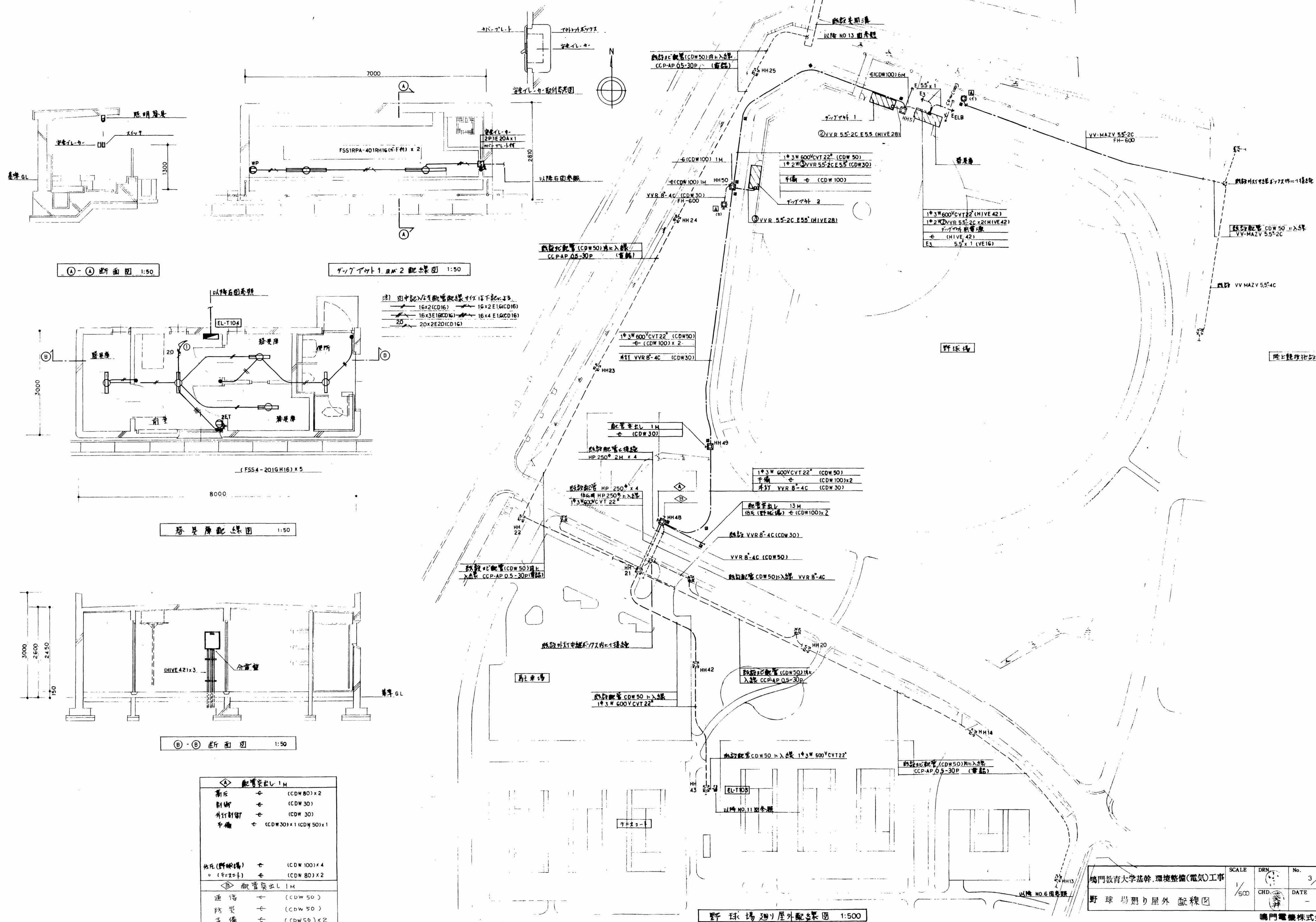
外線工事凡例

記号	名 称	備 考
	既設電灯分電盤	予備図路
	新設受電点（ＴＶ共施）	図面参照
	既設受電点（ＴＶ共施）	図面参照
	ハンドホール	寸法、仕様は平面図参照
	ハンドホール（既設）	
	ケーブル表示札	nは枚数を示す
	コログシ配線	
	地中埋設配管（電線）	土部分（図-600） 73741部分（図-300）
	床下ビット内配管	
	アスファルトはつり雑修を示す	



高島団地テレビ共聴設備外線図 S = 1 / 1, 500

工事名称	日付
鳴門教育大学（高島）地上デジタル対策設備工事	平成22年 1月
図面名称	図面番号
高島国土地テレビ共聴設備外線図	E-14
	縮尺
	1/1,500
田村電設株式会社	設計者



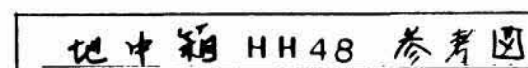
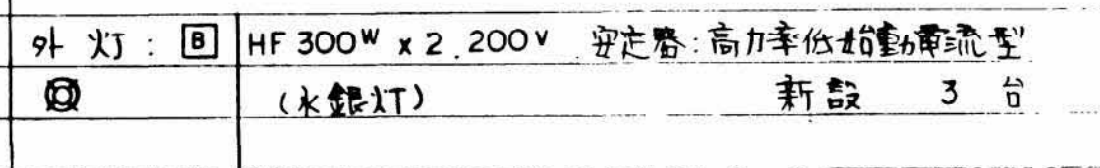
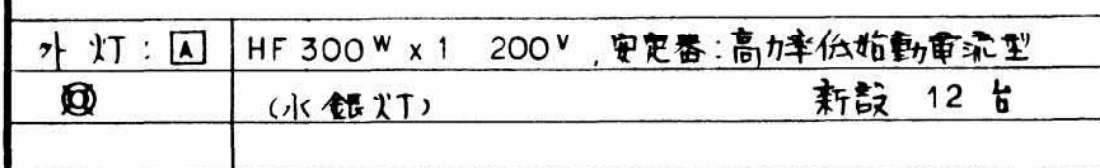
①-① 断面図 1:50

②-② 断面図 1:50

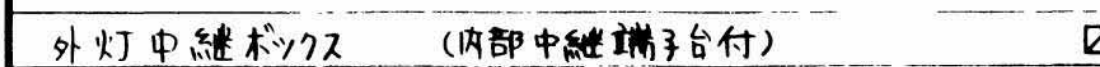
器具庫配線図 1:50

③-③ 断面図 1:50

配管突出 1M		
高圧	⊕	(CDW80) x 2
制御	⊕	(CDW30)
外付制御	⊕	(CDW30)
予備	⊕	(CDW30) x 1 (CDW50) x 1
配管突出 1M		
通信	⊕	(CDW50)
防災	⊕	(CDW50)
予備	⊕	(CDW50) x 2



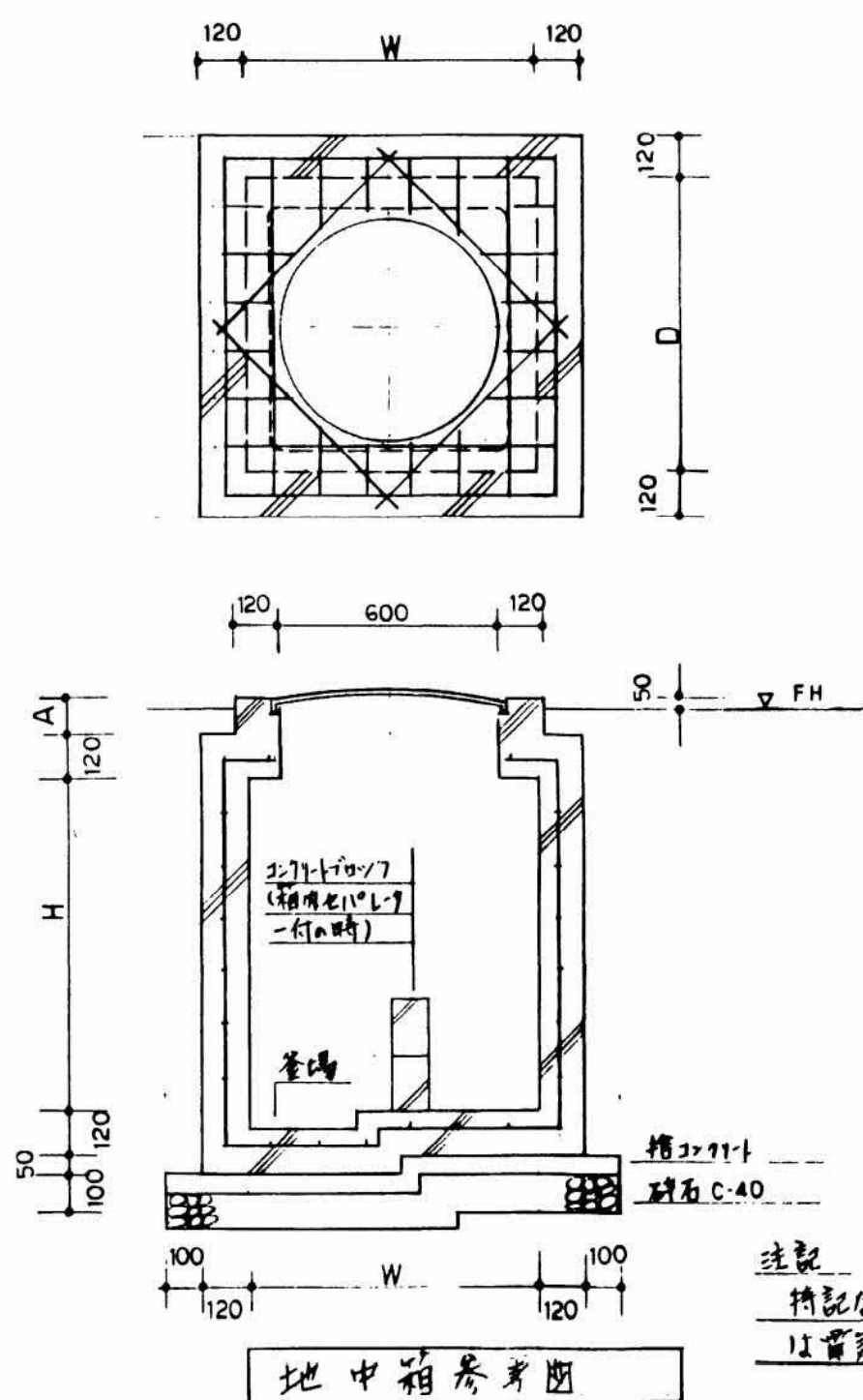
特記なき事項及び詳細は電気工料標準図集による。



器具記号	場所	備考	器具庫	処分外(1)	処分外(2)	台数計
FSS4-201GH16			5			5
FSS1RPA-401RH16	(付)			2	2	4

器具記号	場所	ヤンパス モール廻り	プール 廻り	野球場 廻り	宿舎施設 廻り	台数計
[A]		3	5	2	2	12
[B]		3				3

・ 俗字記号は文部省電気工事標準図集による。



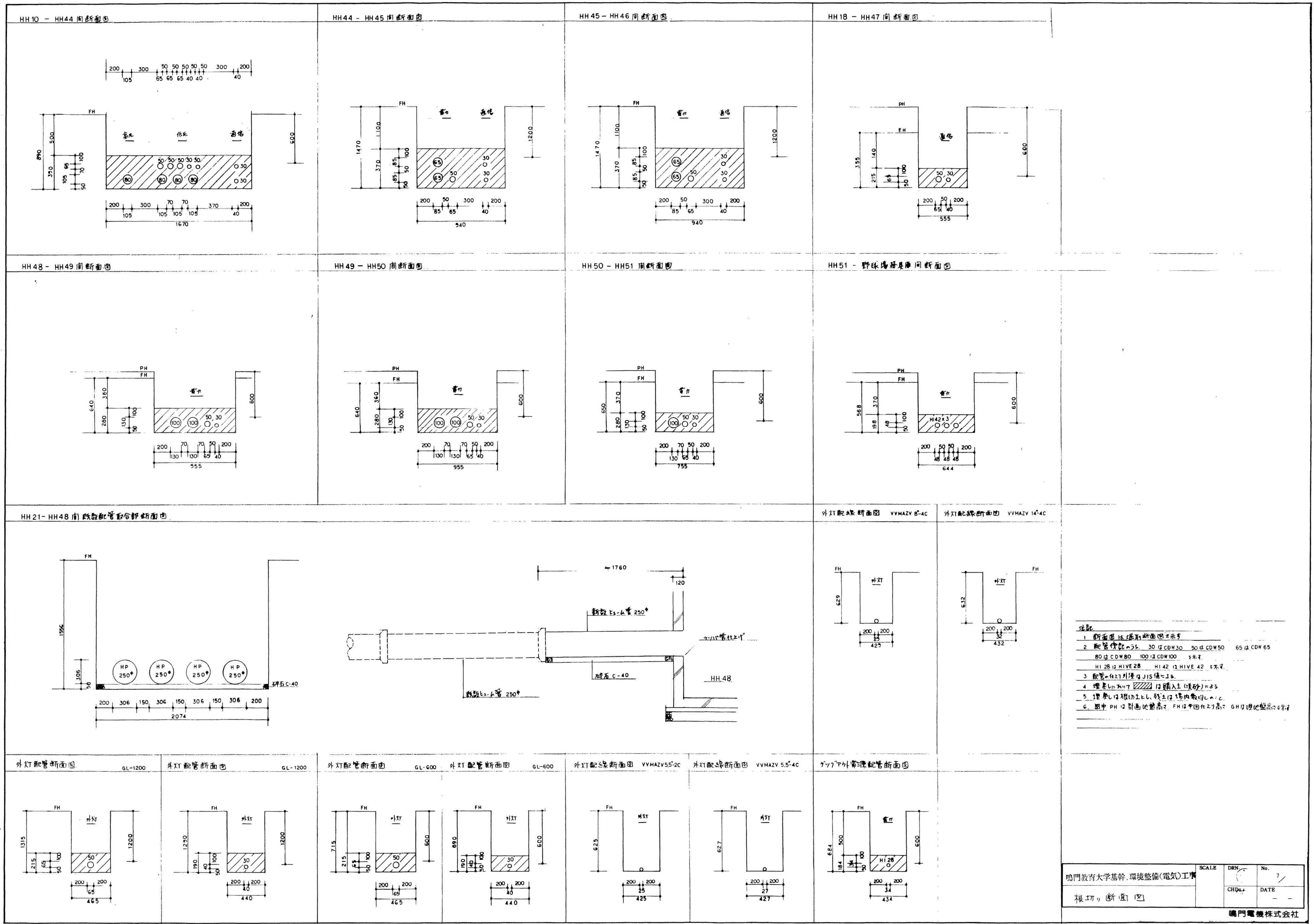
注記
 持記を各項より詳述
 は電気工事標準図集による。

[illegible]

鳴門教育大学基幹・環境整備(電気)工事	
照明器具図	
地中箱図	

SCALE	DRN 	No. 6/
	CHD 	DATE — —

鳴門電機株式会社



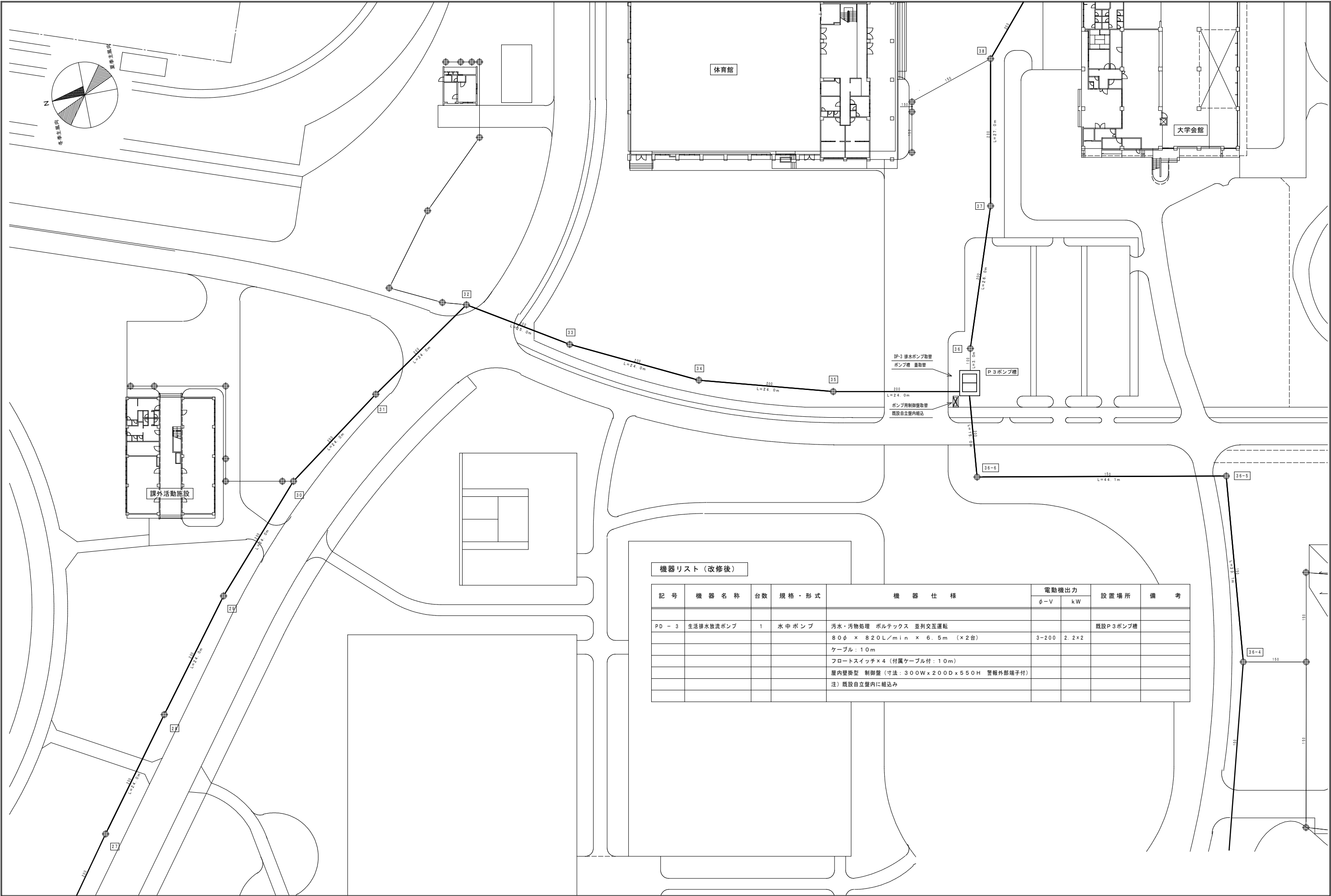
注記
1 断面図は既設断面図を示す
2 配管径は 30 は CDW30 50 は CDW50 65 は CDW65
80 は CDW80 100 は CDW100 表示
H1 28 は HIVE 28 H1 42 は HIVE 42 表示
3 配管は外灯外壁は JIS 値に準ずる
4 埋入は 10mm 以上 15mm 以下 (埋入土は砂) に準ずる
5 埋入は 10mm 以上 15mm 以下 (埋入土は砂) に準ずる
6 図中 PH は 10mm 以上 15mm 以下 FH は 10mm 以上 15mm 以下 GH は 10mm 以上 15mm 以下

校取

凡 例	
①	汚 水
⊙	電 柱 (電 力)
⊖	電 柱 (電 力・電 話)
⊗	集 水 槽
⊗	電 力 (マンホール)
⊗	水 道
⊗	止 水 弁
⊗	水 道 バ ル プ
⊗	散 水 栓
⊗	雨 水
⊗	仕 切 弁
⊗	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊗	橋 梁
⊗	ポ ス ト
⊗	送 水 栓
⊗	通 信
⊗	排 水 溝
⊗	集 水 槽
⊗	—

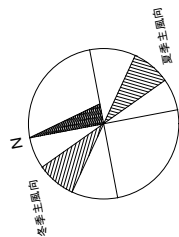
種 別	細 則	数 量
排水施設		
管 渠	D150 1-C1 90°	80.2 m
	" 2-C1 90°	39.1 m
	D300 1-C1 90°	28.1 m
	" 2-C1 90°	27.8 m
	D350 1-C1 90°	56.2 m
	" 2-C1 90°	45.7 m
	D400 1-C1 90°	44.1 m
	D450 1-C1 90°	42.8 m
	D600 2-C1 90°	42.15 m
マンホール	1号	11 箇所
	3号	1 箇所
U 型側溝	75x150-240 90°付着	334.0 m
集 水 槽	100x400x400 90°付着	31 箇所
取 付 管	破損掘り管 VP150	87.0 m

● 既設管・マンホール
EL 計画管底高
H マンホール深
h 既設マンホール
C1 ヒューム管
U U型側溝(1.57)
VP 破損掘り管



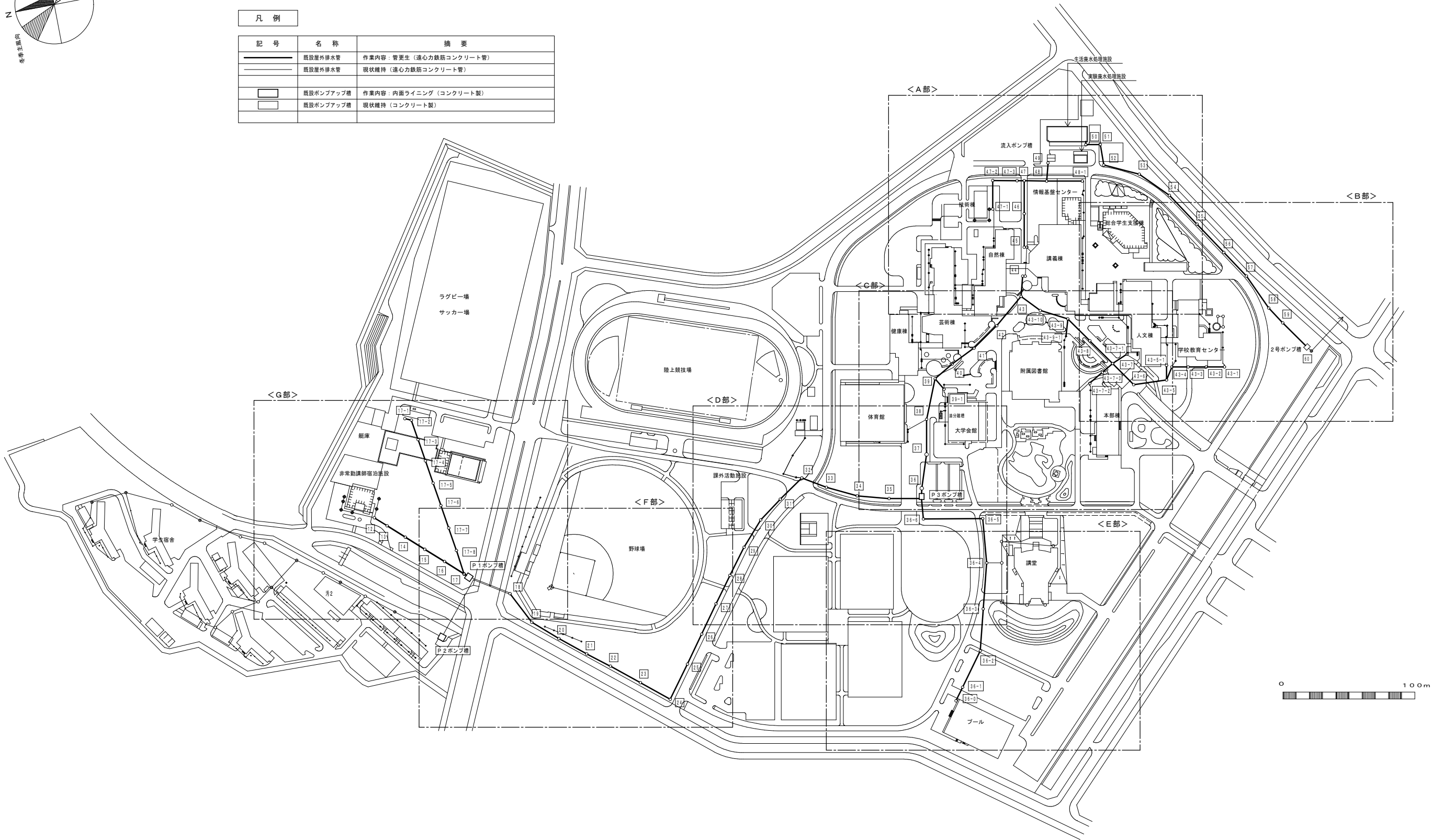
機器リスト（改修後）

記 号	機 器 名 称	台数	規 格 ・ 形 式	機 器 仕 様	電動機出力		設 置 場 所	備 考
					φ-V	kW		
PD - 3	生活排水放流ポンプ	1	水 中 ポンプ	汚水・汚物処理 ポルテックス 並列交互運転			既設P3ポンプ槽	
				80φ × 820L/min × 6.5m (×2台)	3-200	2.2×2		
				ケーブル：10m				
				フロートスイッチ×4 (付属ケーブル付：10m)				
				屋内壁掛型 制御盤 (寸法：300W×200D×550H 警報外部端子付)				
				注) 既設自立壁内に組込み				

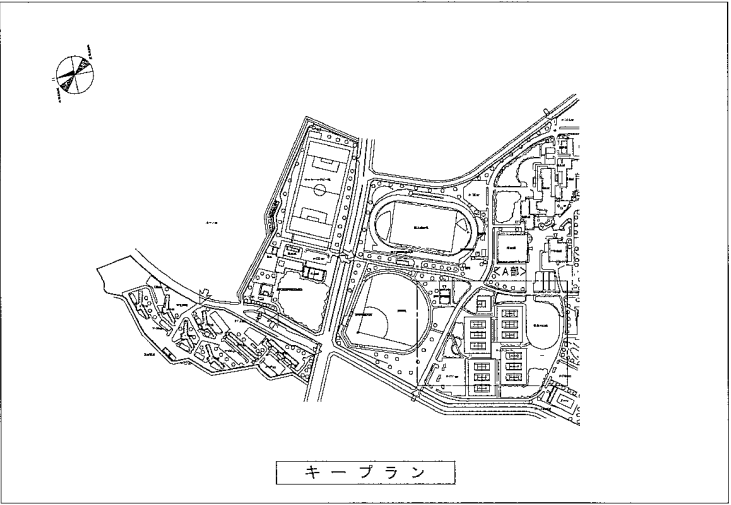
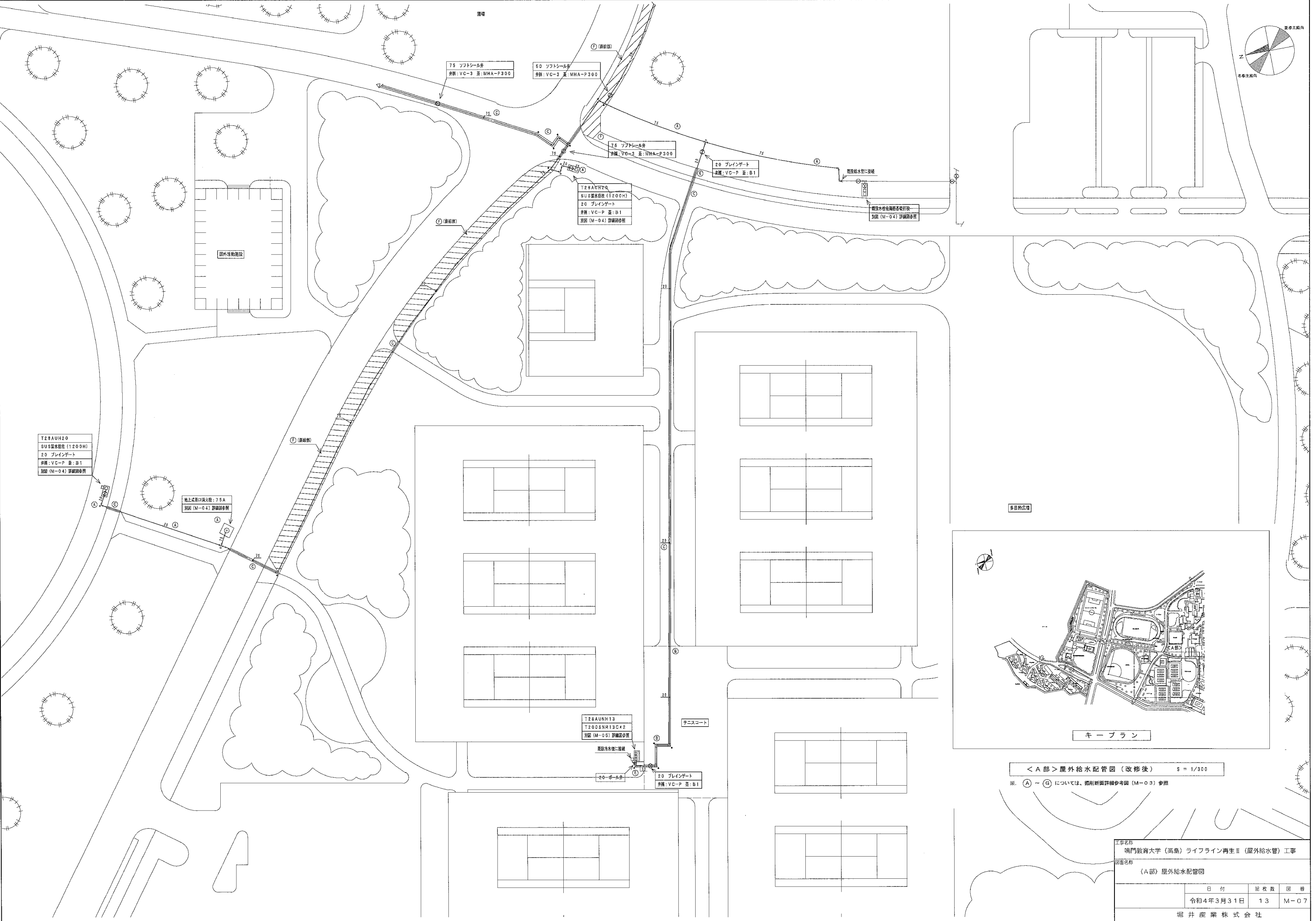


凡 例

記 号	名 称	摘 要
	既設屋外排水管	作業内容：管更生（遠心力鉄筋コンクリート管）
	既設屋外排水管	現状維持（遠心力鉄筋コンクリート管）
	既設ポンプアップ槽	作業内容：内面ライニング（コンクリート製）
	既設ポンプアップ槽	現状維持（コンクリート製）

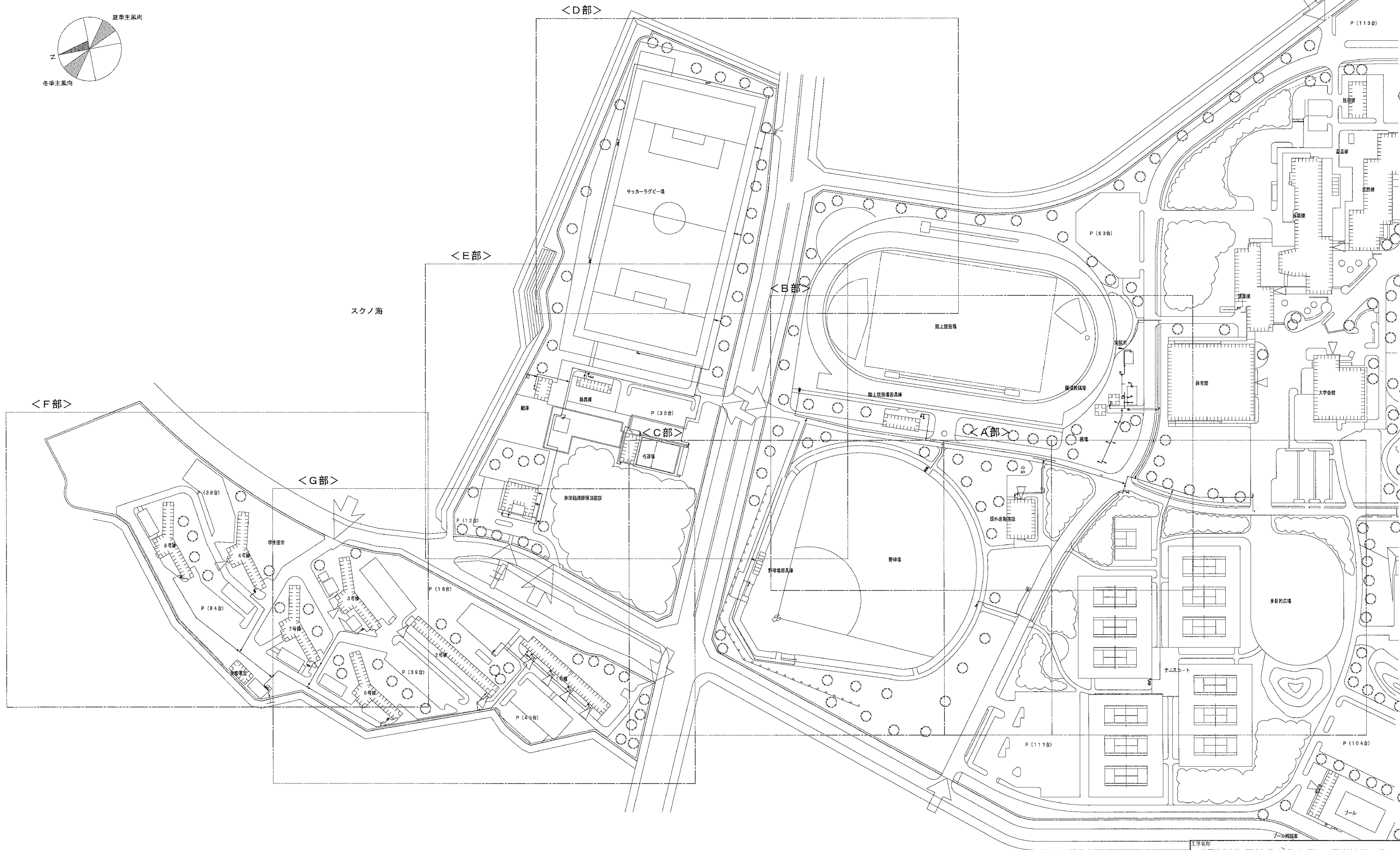
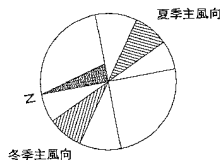


管更生 構内汚水主管路配管図 S = 1/2,500
※) 図示する太線の屋外排水管は、管更生対象配管とする。細線は、残置とする。



< A 部 > 屋外給水配管図 (改修後) S = 1/300
※ (A) ~ (G) については、断面詳細参考図 (M-03) 参照

工事名称			
鳴門教育大学（高島）ライフライン再生Ⅱ（屋外給水管）工事			
図面名称			
〈A部〉屋外給水配管図			
	日付	図枚数	図番
	令和4年3月31日	13	M-07
堀井産業株式会社			



構内給水管路配管図（改修後） S = 1/1,000

※ 表示する太線の排水管は、配管更新を示す。

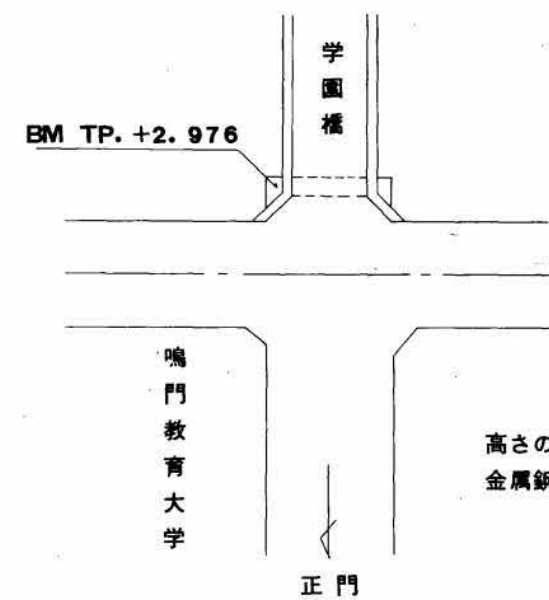
工事名称 鳴門教育大学（高島）ライフライン再生Ⅱ（屋外給水管）工事			
図面名称 構内給水管路配管図			
日付		総枚数	図番
令和4年3月31日		13	M-06
堀井産業株式会社			



凡 例	
①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電力・電話)
⊗	量 水 器
⊗	電 力 (マンホール)
⊗	水 道
⊗	止 水 弁
⊗	水 道 バ ル プ
⊗	散 水 栓
⊗	雨 仕 切 弁
⊗	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊗	標 識
⊗	ポ ス ト
⊗	送 水 栓
⊗	通 信 塔
⊗	障 水 柵
⊗	集 水 溝
⊗	クレーナ設置

番号	施設名	備考
①	練習コート	ハードコート
②	硬式テニスコート	——
③	練習ホールド	R.C.造
④	テニスコート付属屋	(別途工事)
⑤	舗装広場	コンクリート
⑥	芝生広場	(別途工事)
⑦	歩 道	アスファルト
⑧	ツリーサークル	鉄 筋
⑨	足 洗 場	R.C.造

特記：緑地工事は、全く別途工事とする。

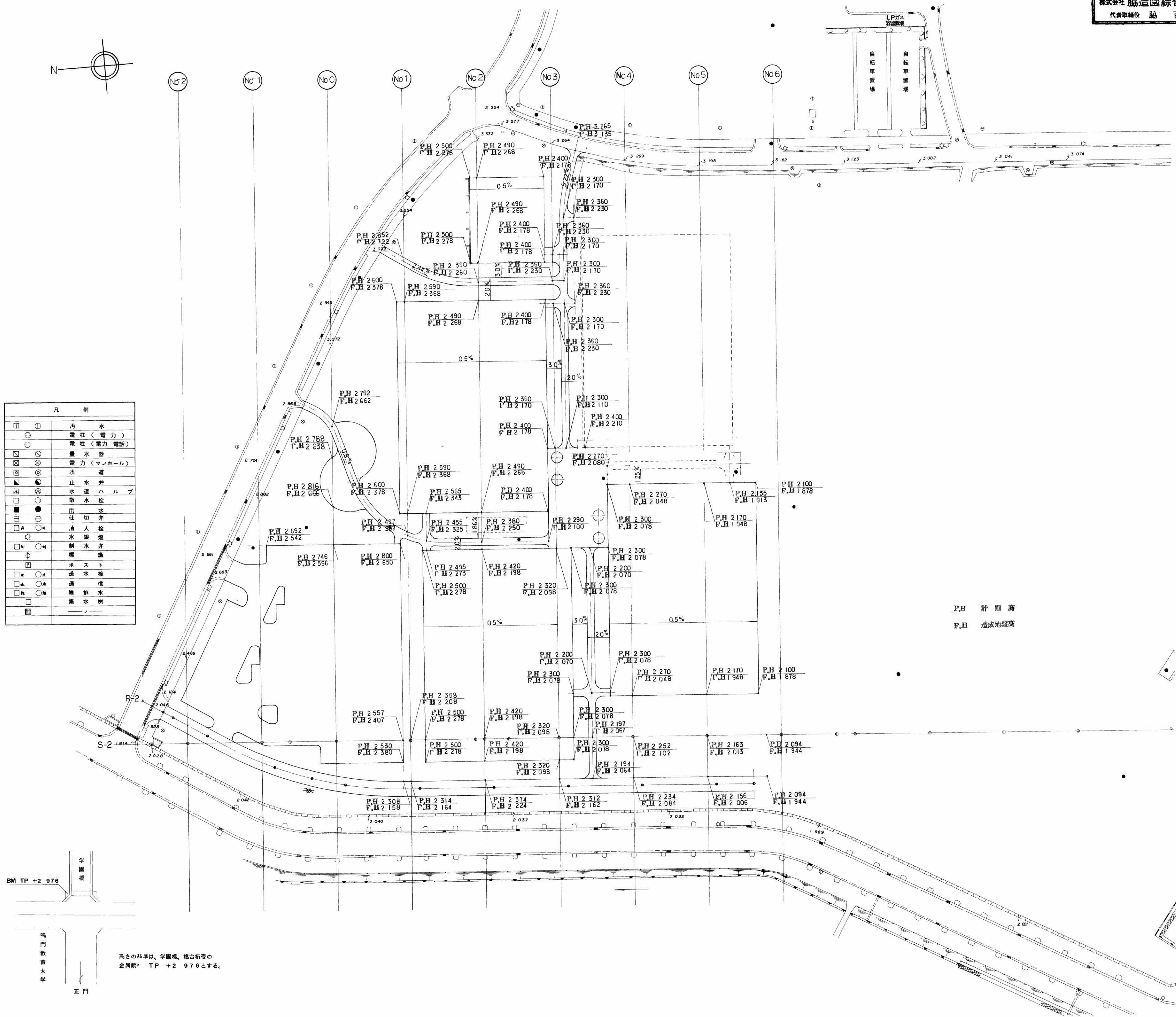


高さの基準は、学園橋、橋台桁受の
金属板を TP. +2.976 とする。

鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹・環境整備(陸上競技場・テニスコート等)工事					
図面名称 平面図					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	38

捺印

凡 例	
①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電 力 電 話)
⊗	量 水 器
⊗	電 力 (マノホール)
⊙	水 道
●	止 水 弁
⊗	水 道 ハ ル プ
□	散 水 栓
●	市 水
○	仕 切 弁
○	消 人 栓
☆	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊙	標 識
□	ポ ス ト
○	透 水 栓
○	通 信
○	雑 排 水
○	葉 水 樹
—	—



鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹・環境整備(陸工競技場 テニスコート等)工事					
図面名称 計画高図					
課長	課長補佐(係長)	係	総校数	昭和60年 8 月	
			61	図番 41	